

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者)松原地区町会連合会

1 交付決定額 

I	金 550,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 防災活動支援事業				
実施主体	松原地区町会連合会・地区公民館・地区防災防犯部会			
実施日(期間)	令和6年3月8日(金)、令和6年3月12日(火)			
実施場所	松原地区公民館			
事業概要	気象予報士から地震のメカニズムや非常時の備えについて学ぶとともに、実際に石川県で災害支援活動を行ってきた松本市危機管理課職員のお話を伺った。			
地域づくりの成果・効果	地区住民の防災・減災活動意識の活性化が図れ、地域全体で防災に取り組む気運の醸成につながった。			
課題	地区住民の総合防災訓練がコロナ禍で行えていなかったもので、再開する必要があるが、役員の交代があり引継ぎがしっかりできていないのが課題である。 また、要支援者の避難を支援する仕組みづくりを引き続き行う必要がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	16,447円	a 16,447円	b 0円	c 0円

a: 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b: 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c: この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 高齢者サロン事業				
実施主体	町会連合会			
実施日(期間)	年間			
実施場所	松原町内公民館他			
事業概要	町内公民館他において、高齢者を対象として百歳体操を行い、その後、井戸端会議の場を設ける。			
地域づくりの成果・効果	地区内の高齢者相互のコミュニケーションを図り、会話を楽しんでいただく機会を設けて、地域全体で高齢者を見守っていく絆づくりにつながった。			
課題	まだ地区全体で高齢者サロン事業が展開できていないので、今後は、他の新たな実施場所を見つけ出し、参加できる人を増やしていく必要がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	65,497円	a 65,497円	b 0円	c 0円

③ 事業名：生涯学習支援事業				
実施主体	地区公民館、町会連合会			
実施日(期間)	年間			
実施場所	飛騨高山、上田、飯田、松原地区公民館			
事業概要	地区住民が歴史学習の視察研修に出掛けたり、公民館で講座に参加したりすることで、閉じこもりを防止し、社会参加促進に資する。			
地域づくりの成果・効果	地区住民と一緒に学習活動等を行うことで、地区住民の学習意欲を高めるとともに地区住民の交流を促進し、絆づくりに寄与できた。			
課題	視察研修においては、バスの乗車定員があり、参加したくても参加できない人が出てしまった。また、参加者がいつも同じ人になってしまう傾向もあるため、なるべく大勢の人に公平に参加いただける方法の検討と参加できなかった方へのフォローの検討が必要である。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	79,945円	44,245円	0円	35,700円

④ 事業名：地域包括ケアシステム推進事業				
実施主体	地域包括ケアシステム推進委員会、町会連合会			
実施日(期間)	年間			
実施場所	松原地区公民館			
事業概要	地域包括ケアシステム推進委員会が主体となって、町会連合会の理事を中心に地域包括支援センター、地域づくりセンター、公民館、福祉ひろば、生活支援員、地区担当職員を含め、地区に必要な地域包括ケアシステムを推進する。			
地域づくりの成果・効果	10年後の超高齢化社会を迎えてもいきいきと暮らせる地区の在り方を検討し、住民相互の助け合いを増進し、地区住民の結びつきを深めることができた。			
課題	今後ますます高齢者が増加するに伴い、フレイル予防、認知症対策等の需要が高まるので、住民相互の助け合いのできる具体的な生活支援、介護予防策を検討していく必要がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	98,640円	98,640円	0円	0円

⑤ 事業名：第2ふれあい健康教室支援事業	
実施主体	福祉ひろば、町会連合会
実施日(期間)	年間
実施場所	松原地区福祉ひろば、地区公民館
事業概要	ふれあい健康教室より体力は必要としないが、若干の運動程度ならできる(やりたい)高齢者を対象に軽い体力づくり等の講座を実施する。

地域づくりの 成果・効果	体力が衰えつつある高齢者に楽しく体力づくりをしていただくとともに、相互の交流を図り、地域におけるフレイル予防に寄与することができた。			
課 題	コロナ禍で事業が一度中止になり、その後再開するも参加者が戻ってきていない。また、年々参加されていた方が高齢化のため、減少傾向にあり、フレイル予防が必要な高齢者は増えていると思われるが参加に結び付いていない。事業にどうしたら参加してもらえるか講じる必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	35,692円	35,000円	0円	692円

⑥ 事業名:子ども育成・子育て支援事業				
実 施 主 体	町会連合会、地区公民館			
実施日(期間)	年間			
実 施 場 所	松原地区公民館他			
事 業 概 要	地区の小中学生を対象に、長期休み中のバス研修や地区の大人から野菜の育て方を学び、収穫した野菜で料理を覚えてもらう講座や健康食事講座、ラジオ体操、料理、卓球教室などを行った。			
地域づくりの 成果・効果	コロナ禍が過ぎ、様々な事業を実施することができ、子どもの健全な育成に寄与することができた。また、子育ての一環を担い、将来の松原地区の地域づくりの土壌整備や地域の活力向上を図ることができた。			
課 題	参加者が子どものため、けが等注意が必要になる。それを恐れるあまり事業が縮小してしまうこともあるため、安全に配慮しつつも一年を通じて事業を継続できるようにしたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	111,239円	68,439円	円	42,800円

⑦ 事業名:モール活性化支援事業				
実 施 主 体	町会連合会、松原モールぶろじえくと			
実施日(期間)	年間			
実 施 場 所	松原ショッピングモール			
事 業 概 要	修理されたからくり時計台を中心に時計台コンサートを行ったり、地区の象徴的な施設である松原ショッピングモールの清掃を行って美化向上に努める。			
地域づくりの 成果・効果	かつての人が集い賑わいのあった松原ショッピングモールを復活させるまちづくりの一環を図ることができた。			
課 題	一度コロナ禍において、人を集めるイベントを中止してしまった中、再度開催をして人を呼び戻すことが困難であるが、地域振興を図るための集客力のあるイベントを検討する必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	56,808円	41,211円	15,597円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	464,268円	369,479円	15,597円	79,192円

A:各事業のaの合計額

B:各事業のbの合計額

C:各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:防災備品積立事業					
積立目的	災害に強いまちづくりを進めるため、防災備品を購入し整備する。				
積立期間	令和4年度から 令和7年度まで (本年度2年目)				
積立ての 目標金額	660,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への 積立金充当額	差引累計	
	前年度 までの 積立経過	1年目	165,000円	267,860円	227,140円
		2年目	0円	0円	0円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D 165,000円	E 0円	F 392,140円	
合計額	330,000円	267,860円			
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日(期間)					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの 成果・効果					
決算額	E+G	財源内訳			
	円	E	G	円	
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E:充当した積立金の額

G:その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 15,521 円
-------	------------

[参考]繰越上限額=I×2/10

### 3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し